

【遊学館 守谷教室】事業者向け 放課後等ディサービス 自己評価表

	チェック項目	守谷			改善目標 工夫している点など
		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		・療育スペースと学習スペースを分け人数を分散させたり、集団活動等でも時間差で対応しています。 ・突発的な動きや不安定になった時など、別スペースを活用しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	8			・配置基準を満たし、不安定な利用者にも対応できるよう基準より多いスタッフを配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6	2	・バリアフリーではないため、昇降時には必ずスタッフが付き添いや声掛けを行い、転倒防止に努めています。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	8			・日々の問題点や改善点を話し合い、全スタッフが統一した支援を行えるよう努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・保護者向けアンケートを実施し、業務改善を行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・ホームページや独自のツールを利用し公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	6	・現在、第三者評価は行っていません。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・研修の機会や保育士資格取得を推奨し、資質の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	8			・半年に1回モニタリングを行い、保護者との面談や要望を聞き、個別支援計画を作成しています。 ・送迎時等に保護者とコミュニケーションを図り、利用者に適した計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		・事業所内のアセスメントツールや保護者からの聞き取りを行い、利用者の状況把握に努めています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・スタッフ間で話し合い、活動内容を立案しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・活動内容を立案し、固定化しないよう配慮しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・個人の課題や集団活動を設定し状況に合わせ支援しています。また、休日・長期休暇は外出支援の機会を設けています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	8			・個別と集団活動をバランス良く組み立て、サービスを提供できるよう努めています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・支援開始前にはスタッフ間でミーティングを行い、利用者についての注意点や支援内容、その他留意すべき事項等を確認しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		・勤務時間や送迎時間等の関係で、スタッフ揃っての振り返りが難しい為、独自のツールを活用し気付いたことや共有すべき内容を記載しています。翌日には内容を振り返り、情報共有を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・毎日連絡帳にて支援内容やその日の様子を記録し、その後の検証や改善に利用しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・定期的にモニタリングを実施し、見直しや改善点を話し合っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8			・日常生活動作や創作活動、余暇活動を組み合わせ、バランスよく提供できるよう努めています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			・児童発達支援管理責任者または管理者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			・下校時に利用者の様子等について、情報共有を行っています。また毎月、児童引き渡し報告書を作成し学校へ提出しています。 ・利用の有無等、変更があればその都度連絡をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6		・現在医療的ケアが必要な利用者はいませんが、今後対応するには、主治医等の連絡体制を整えます。 ・「守谷第一病院」「守谷こどものこころからのクリニック」と医療協定を締結しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5		・毎月だよりや活動予定表を配布し、保育園や児童発達支援事業所等に情報を提供しています。
	24	学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6		・情報提供を求められた場合、障害福祉サービス事業所等と連携を図り、情報を提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		・研修機会を設け、資質向上に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7	1	・屋外イベント等には積極的に参加しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	2		・守谷市障がい福祉サービス事業所連絡協議会へ役員選出しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時やサービス提供記録(連絡帳)にて、利用者の様子を細かく伝え、状況や課題について、共通理解を図っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6		・ペアレント・トレーニングという形ではありませんが、保護者の不安感を取り除けるよう、いつでも相談に応じています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時には重要事項説明書を用いて、丁寧な説明を心がけています。また、わからない事項等は質問時間を設け説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・保護者の悩みに応じて、助言や支援を行っています。また日々コミュニケーションを図り、悩みなどの軽減に努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	4	・要望がないため現在行っていませんが、保護者からの要望等があれば検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・苦情窓口を設置しています。苦情発生時には内容を記録し、迅速かつ適切に対応できるようスタッフ間で情報を共有しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・毎月だよりや活動予定表、活動の様子を独自のツールにて公表しています。また、ホームページのブログでも日々の活動を掲載しています。 ・活動予定表では、利用者にも分かりやすくイラスト等を用いて記載
	35	個人情報に十分注意しているか	8			・個人情報については、加減できる言葉に言及していません。またブログやフェイスブック等では、個人が特定されないよう配慮しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		・連絡帳や送迎時に口頭で伝え、互いの意思疎通を図れるよう配慮しています。 ・保護者と信頼関係の構築に努めています。 ・選択肢の提示や絵カード等を用いて、利用者との意思の疎通が図れるようにしています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	5	・事業所として地域住民等を招待する行事の企画は難しいですが、地域イベントには積極的に参加しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		・各マニュアルを作成し、スタッフ間で情報共有を行っています。また、保護者への周知にも努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・年2回災害を想定した訓練を行っています。また、活動予定表に実施日を記載し、保護者や利用者への周知に努めています。 ・救命講習を受講し、緊急時に備えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		・研修機会を確保し、共通理解を図っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			・身体拘束に関して利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に「切迫性・非代替性・一時性」であることをスタッフの共通認識としています。全利用者の個別支援計画書に記載し承諾を得ており、やむを得ず行った場合は記録に残し、保護者への詳細説明を行う体制を整えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		・アレルギーの有無について契約時に保護者からの聞き取り確認を行い、スタッフ間で共通認識をしています。また医師の指示書がある場合は、利用時に細心の注意を払い対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事案発生後、迅速に作成をしています。また、ミーティング時に情報共有を行い、再発防止に努めています。